

# 食品等の検査状況



神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市及び藤沢市では、県内に流通している食品の安全性を確認するために食品添加物、残留農薬などさまざまな検査を実施しています。違反食品等については、製造・販売者に回収や販売禁止など必要な措置をとるとともに、関係自治体に通報しました。

ここでは、平成21年度に実施した検査の概要をご紹介します。

## 食品添加物（平成21年度）

検査品目	国産食品		輸入食品	
	検体数	違反数	検体数	違反数
乳及びその加工品	59	0	13	0
肉卵類及びその加工品	434	0	63	0
魚介類及びその加工品	1,412	1	69	0
野菜・果実及びその加工品	397	0	330	0
穀類及びその加工品	128	0	28	0
冷凍食品	10	0	30	0
清涼飲料水	197	0	86	0
酒類	19	0	72	0
菓子	255	0	365	0
かん詰・びん詰食品	30	0	242	0
その他食品	365	0	154	1
合 計	3,306	1	1,452	1

## 残留農薬（平成21年度）

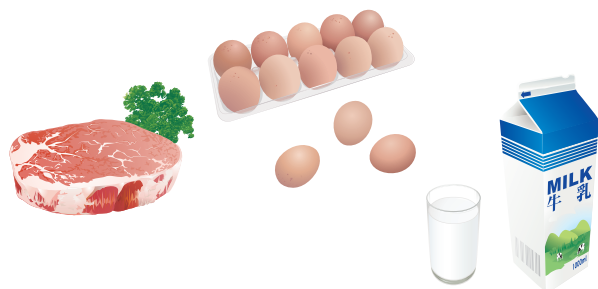
検査品目		検体数	違反数	内 訳
国産食品	農産物	404	0	きゅうり、トマト、キャベツ、レタス、だいこん、ほうれん草、とうもろこし、ばれいしょ、チンゲンサイ、きょう菜、ブロッコリー、米、やまといも、ぶどう、もも、みかん、いちご、りんご、なし、梅等
	畜産物	12	0	牛肉、豚肉、鶏肉、牛乳
	水産物	3	0	鮎（あゆ）
	加工食品	1	0	冷凍食品
	小 計	420	0	
輸入食品	農産物	192	0	かぼちゃ、しょうが、さといも、ピーマン、ブロッコリー、オクラ、にんにく、えだまめ、グレープフルーツ、バナナ、オレンジ、レモン、チェリー、キウイ、マンゴー等
	畜産物	14	0	牛肉、豚肉、鶏肉
	水産物	3	0	サーモン
	加工食品	94	0	冷凍食品
	小 計	303	0	
合 計	723	0		

## 動物用医薬品（平成21年度）

検査品目		検体数	違反数
国産食品	食肉	346	0
	鶏卵等	70	0
	魚介類	17	0
	乳等	18	0
	はちみつ	2	0
	小計	453	0
輸入食品	食肉	97	0
	魚介類	67	0
	乳等	6	0
	はちみつ	4	0
	冷凍食品	4	0
	小計	178	0
合計		631	0

## 抗菌性物質（平成21年度）

検査品目	検体数	違反数		
		抗生物質	合成抗菌剤	
国産食品	食肉	1,596	0	0
	鶏卵等	49	0	0
	魚介類	46	0	0
	乳等	45	0	0
	冷凍食品	3	0	1
	魚介類加工品	17	0	0
	そうざい	4	0	0
	小計	1,760	0	1
輸入食品	食肉	60	0	0
	魚介類	61	0	0
	はちみつ	5	0	0
	冷凍食品	20	0	0
	魚介類加工品	5	0	0
	小計	151	0	0
	合計	1,911	0	1



## 環境汚染物質（平成21年度）

水俣病の原因となったメチル水銀、工業分野で多く使われていた PCB、船底塗料や魚網の汚染防止剤として使われていた有機スズ化合物などを、環境汚染物質として検査しました。

### 総水銀

ppm：濃度の単位（100 万分の 1）

検査品目	検体数	検出数	検出範囲（ppm）	規制値を超えたもの※1
魚介類	153	147	0.003～1.3※2	0
魚介類加工品	1	1	0.12	0
合計	154	148	—	—

※1 総水銀が 0.4ppm を超えたもののうち、メチル水銀が 0.3ppm を超えたもの。

※2 魚介類のうち 2 検体が総水銀の規制値 0.4ppm を超えましたが、いずれも規制対象外の魚介類（キンメダイ）でした。

### PCB

食品分類	検体数	検出数	検出範囲（ppm）	規制値を超えたもの※3	
魚介類	遠洋	14	4	0.007～0.018	0
	内海	47	26	0.006～0.08	0
魚介類加工品	1	1	0.01	—	
合計	62	31	—	—	

※3 暫定的規制値：魚介類 遠洋沖合産 0.5ppm  
内海内湾産 3ppm

## 有機スズ化合物

検査項目	検査品目	検体数	検出数	検出範囲 (ppm) <sup>※4</sup>
TBT (トリブチルスズ)	魚 介 類	3	0	—
TBTO(トリブチルスズオキシド)		53	5	0.013~0.019
TPT (トリフェニルスズ)		56	10	0.01 ~0.032
DBT (ジブチルスズオキシド)		3	0	—
TPT (トリフェニルスズ)	魚介類加工品	1	0	—
TBTO(トリブチルスズオキシド)		1	0	—
合 計		117	15	—

※4 規制値はありません。



### 遺伝子組換え食品 (平成21年度)

現在、我が国で食品の使用が認められている遺伝子組換えをした作物は7種類（大豆、とうもろこし、じゃがいも、なたね、わた、アルファルファ及びてんさい）で、これらの作物とこれらを原材料とした加工食品32食品群には表示が必要です。

スーパーマーケットや小売店では「遺伝子組換えでない」「遺伝子組換え不分別」等の表示のある加工食品を目にしますが、その表示が正しいかどうかについて、安全性未審査の組換え遺伝子の混入の有無を確認する「定性検査」と安全性審査済の組換え遺伝子の混入量を確認する「定量検査」を実施しました。

検査項目	定性検査				定量検査			
	検体数	適	不適	検知不能 <sup>※</sup>	検体数	適	不適	検知不能 <sup>※</sup>
パパイヤ	9	9	0	0	—	—	—	—
とうもろこし穀粒	8	8	0	0	8	8	0	0
とうもろこし加工品	41	40	0	1	8	8	0	0
大豆穀粒	—	—	—	—	31	31	0	0
大豆加工品	—	—	—	—	44	42	0	2
米加工品	72	71	0	1	—	—	—	—
合 計	130	128	0	2	91	89	0	2

※検知不能：食品製造工程の加熱等により、遺伝子がすべて分解されて、検査ができなかったもの。



# かながわの食品衛生 バックナンバー



**Vol.1** 平成8年度版  
 特集1 目で見える食品衛生ガイド  
 特集2 病原性大腸菌O157



**Vol.2** 平成9年度版  
 特集 暮らしの中の食品衛生法



**Vol.3** 平成10年度版  
 特集 家庭の食品衛生を考える



**Vol.4** 平成11年度版  
 特集 食品の検査室を  
 のぞいてみましょう



**Vol.5** 平成12年度版  
 特集 輸入食品の話



**Vol.6** 平成13年度版  
 特集 BSE（牛海綿状脳症）  
 -牛肉の安全確保に向けて-



**Vol.7** 平成14年度版  
 特集1 食品添加物の話  
 特集2 食品の表示について



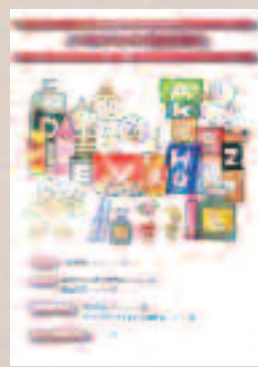
**Vol.8** 平成15年度版  
 特集1 食品に含まれる化学物質  
 特集2 食物アレルギーについて  
 考えましょう



**Vol.9** 平成16年度版  
 特集 食肉の安全性  
 -農場から食卓まで-



**Vol.10** 平成17年度版  
 特集 農業



**Vol.11** 平成18年度版  
 特集 健康食品



**Vol.12** 平成19年度版  
 特集 みんなで支える食品の安全  
 -農場から食卓まで-



**Vol.13** 平成20年度版  
 特集 食品衛生監視員って何を  
 しているの？  
 -食の安全確保に向けて-



**Vol.14** 平成21年度版  
 特集1 輸入食品の安全性確保  
 対策について  
 特集2 神奈川県食の安全・安心の  
 確保推進条例を制定しました

バックナンバーはホームページ  
 でご覧になることができます。  
 (「かながわの食品衛生」で検索)



コープかながわは県内115店舗と  
玄関先まで商品をお届けする宅配サービスで皆さまの暮らしを応援します

広告



コープのお店は食生活を中心に毎日の暮らしを応援します。  
組合員ならどのお店でも利用できます。



宅配サービス（おうちCO-OP）は青果・肉・魚・冷凍食品から重いお米、かさばる雑貨まで、注文に応じてご自宅までお届けします。



検査センターが入居する施設（厚木市）

30年の実績を持つコープの商品検査センターは、「食の安心」をめざして品質管理とコミュニケーションにつとめています。



子どもたちの学習の場としても活用されています。

県内にお住まいかお勤めであれば、どなたでも加入できます。

コープかながわホームページ

<http://www.kanagawa-coop.or.jp/>

## 食の安全・安心に関する電話相談を受け付けています



（専用ダイヤル）

かながわ食の安全・安心相談ダイヤル

**045-210-4685**

受付時間 午前8：30～11：30 午後1：00～4：30

（土・日・祝日、年末年始の閉庁日を除く）

食の安全・安心に関するさまざまな情報を提供しています

神奈川県食の安全・安心推進会議ホームページ

# かながわの食の安全・安心

かながわ 食の安全

検索



## かながわの食品衛生 Vol.15（平成23年3月）

編集・発行：神奈川県保健福祉局生活衛生部食品衛生課  
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1  
☎045-210-4940（直通）

○本冊子に対するご意見、ご感想及び今後取り上げて欲しいテーマなどがございましたら左記の電話番号にご連絡ください。多くのご意見をお待ちしております。



古紙配合率70%再生紙を使用しています